

# どうぶつこうえん ニュース



No.75

2010  
春

# Topics

## コモモの誕生

昨年(2019年)の11月14日、上野動物園に繁殖目的で貸し出しているニシゴリラのモモコが女の赤ちゃんを出産しました。モモコは2000年のモモタロウに次いで2回目の出産となります。名前は一般公募で「コモモ」と決められました。

当日の14日午後5時ころ、上野の担当の方から「陣痛が来たようです。」と連絡をいただき、私も次の日赴く予定にしておりましたが、午後7時ころ「生まれました！」と報告がありました。陣痛が来てから2時間でのスピード出産でした。

出産の様子をビデオで見せていただきましたが、モモコはお尻から出てきた赤ちゃんが床に落ちないように、まず右足で赤ちゃんの頭をおさえ、次に左足で、最後に股の間から片手で抱き受けたのです。前回もモモコの子育てぶりには驚かされましたが、モモコはまさに日本のゴリラ界のグレート・マザーと言えます。一般公開はもう少し暖かくなってからになりそうですが、この号が出る頃には、かわいい赤ちゃんを上野でご覧になることができそうですね。



撮影 上野動物園

伊藤泰志 (ITO H YASUSHI)

## 目次

### CONTENTS

- 表紙【ショウジョウトキ】…………… ①
- トピックス【コモモ】…………… ②
- 新春特別行事 …………… ③
- ちばZOOフェスタ …………… ④
- 大人の飼育体験 …………… ⑤
- モバイル写真館 …………… ⑤
- 飼育よもやま話 …………… ⑥
- 動物公園の動物 …………… ⑥
- 動物公園日誌から[09.10/1~09.12/31] … ⑦
- サポーター会員募集のお知らせ…………… ⑧
- Information …………… ⑧

## 表紙の動物説明 ショウジョウトキ

ショウジョウトキは、コウノトリ目トキ科シロトキ属に分類されます。また、トキの仲間は12属25種がいます。体長は、約60cm。体色は鮮やかな朱赤色で非常に目立ちます。当園では、残念ながら一度も繁殖をしたことがないので幼鳥の姿はご覧になったことがないでしょうが、親鳥と違い体色は黒褐色であり目立ちません。

生息地は、南米のブラジル・スリナム・ガイアナ・ベネズエラ・コロンビアの大西洋からカリブ海の沿岸のマングローブ林にコロニー(集団繁殖地)を形成します。1クラッチ\*1 2~4個の卵を産み、抱卵期間は21~23日です。抱卵・育雛は雌雄共同で行います。雛は、約42日で巣立ちます。同属のシロトキとは、体形・習性とも近似していることから、飼育下では容易に交雑種ができますが、ベネズエラにある混合コロニーでは、自然交雑は起きていません。

追記ですが、佐渡で放鳥された、*Nipponia nippon* は、12属のうちのトキ属に分類され1属1種です。 \*1:一回の繁殖で生む卵の数

小林 正典 (KOBAYASHI MASANORI)  
写真撮影 宮川 千尋 (MIYAKAWA CHIHIRO)

## 動物飼育数

平成21年12月末現在の飼育数

哺乳類 66種 454点

鳥類 71種 301点

爬虫類 6種 29点

両生類 1種 2点

魚類 1種 1点

総計 145種 787点

# 新春特別行事開催

お正月らしく綺麗に澄み渡った青空の下、新年の初開園日の2日に新春特別行事が開催されました。

開園直後に動物科学館前で新年玉プレゼントを先着200名のお子様に配布し、11時から動物公園ボランティアの方が中心となって作製した動物公園カルタを使ったカルタ大会を開催しました。このカルタは読み札に動物の特徴的な行動や生態を読み込んであり、遊びながら動物のことを学べるようになっています。



カルタ大会の開催風景  
(幼稚園の部の熱気は凄かった)



引き継ぎ式の開催風景



丑年生まれの子の挨拶



スイギュウへのエサやり

午後1時30分からは家畜の原種ゾーンのスイギュウ展示場前にて、干支の引き継ぎ式の開催です。スイギュウやトラの解説のあと、丑年生まれの小学生による引き継ぎ書の読み上げやお疲れさまの意味を込めてスイギュウへのエサやりを行いました。次に寅年生まれの小学生による今年の抱負の読み上げなのですが、残念なことに当園にはネコ科の動物がおりません。そこで中国名(小熊猫)のレッサーパンダの風太(着ぐるみ)が代役を引き受けてくれたので登場となりました。読み上げた今年の抱負を風太に手渡して無事引き継ぎが終了しました。



小熊猫への引き継ぎが無事終了しました



寅年の子による今年の抱負の読み上げ

# ちばZOOフェスタ 2009

ちょうど1年程前の昨年度末に「ZOOフェスタ」と題したイベントを初めて実施しましたが、キャラクターショーが中心となるイベントでした。今年度はより持続的な動物園イベントとして確立してゆくため、市民参加型イベントとして大きく生まれ変わりました。テーマは「市民動物文化祭」。11月6日(金)～8日(日)の3日間実施しました。

みなさんは動物園に何を求めているのでしょうか?やっぱリジャーですか?今、様々な趣味の活動の場として動物園を活用されている方が増えています。従来からの写真撮影にとどまらず、絵画やクラフト作品などなど、「趣味の素材収集の場」として利用されています。それならばそんな作品の発表の場も動物園で…

そこで、以下の3部門を設定し参加者を募りました。動物・動物園に関する作品なら、「千葉市動物公園の動物じゃなくても何でも結構、空想上の生き物でもOK!」という太っ腹の大企画。

## ギャラリー 部門



▲ギャラリー部門のブース

テントを個展ブースとして作品展を展開しました。作品の販売も行われました。

全11団体が参加され、中には遠く関西から参加された方や当園の人気動物ハシビロコウのふるさとウガンダで女性支援活動をされている方の作品、毎週園内で油絵で風景画を描かれているグループなど多岐に渡る作品が並びました。

## パフォーマンス 部門



▲パフォーマンス部門のアニマルフェイスペイント

中央広場に新しく整備したステージ上で様々なパフォーマンスを展開してもらいました。

保育園児たちの楽しいお遊戯発表にはじまり、数々の大会で賞を絡めしている幕張総合高校シンフォニックオーケストラ部の荘厳な演奏などなど…

なお、舞台上の進行は千葉大学お笑いサークルP-RITTS(プリッツ)のみなさんが買って出ただけ、楽しいステージが繰り広げられました。

## 映像・デジタル 部門



▲映像・デジタル部門のレッサーパンダ体操

この部門は、CGやデジタルアート作品を募集するデジタルアート展と、動物公園のプロモーションビデオ作品と自由映像作品の2カテゴリーの映像コンテストを実施しました。当日はプロの映像編集者とCG作家を招いてのワークショップも実施されました。

応募作品はどれも力作ぞろいで、自由映像コンテストの優勝作品が「レッサーパンダ体操」です。

どの部門の作品も力作ぞろいで、こんな切り口の動物園の楽しみ方、観察の仕方があったのかと、日々動物園の内部にいる職員でありながら「目からウロコ」状態。どちらかという職員が楽しんでしまったのかもしれませんが。

尚、動物公園では、このイベントでの参加作品を様々なシーンで動物公園発により発信してゆく方針で、2010年版カレンダーをギャラリー部門で写真作品を出展された「動物園で写真撮影」さんの作品により作成したほか、クリスマス用ディスプレイを同部門の「アニマルパレット」主宰者の方のイラスト作品により実施しました。

自由映像コンテスト優勝作品のレッサーパンダ体操は市内幼稚園・保育園にDVD配布しました。現在作者の方と続編2編を作成中で、一般向けには、こちらと合わせて4月販売開始をめざしていますのでご期待ください。

## 緊急告知 ちばZOOフェスタ・2010やります!! 2010年は11月6日(土)7日(日)の2日間実施いたします!

上記3部門に加え、新たに小学生から高校生を対象とした「研究発表部門」を導入し、さらに市民動物文化祭化計画が進行してゆきます。

新設されるこの部門は生き物(植物も含む)や環境をテーマとした研究発表を小中高の3カテゴリーに分けてポスター発表形式で募集します。

各カテゴリの優秀作品はイベント当日に園内のレクチャールー

ムで発表をしていただきます。

尚、作品審査には当園スタッフの他、自然科学分野の研究者の方をお招きする予定で、この方には当日「研究者になるためには」などの切り口で講演もいただく予定です。

各部門の募集要項は近く発表いたします。HPをチェック!!

ちばZOOフェスタ実行委員会

# 大人の飼育体験 開催

昨年の12月13日に第8回大人の飼育体験を実施いたしました。大人の飼育体験は、開園当初から行われてきている子供を対象としたサマースクールや学生の実習と違い成人の人たちを対象として動物飼育を体験していただくプログラムとなっています。大人の飼育体験は、始めてからまだ日が浅いためか市民の方達にも、まだ知られている企画となっていないように思われます。

大人の飼育体験は、年2回行われていて、毎回60名ぐらいの応募があります。その応募者の中から飼育係1名につき応募者が1名付くように当選者を決めるため、22名の方達が抽選の結果選ばれています。第8回大人の飼育体験では、71名の応募があり、22名の方を厳選な抽選を行って決定いたしました。当選された方の中には茨城県から来られている方や東京から来られている方もいました。中には、動物公園のサポーターに入っている人もいて、レッサーパンダの風太のファンで、毎週のように来園されている方もいらっしゃいました。



▲定番のお掃除

担当していただく動物は、当選者の方に、事前に担当してみたい動物を第一希望から第三希望まで電話で伺い、なるべく希望に沿えるよう、飼育体験の担当をしている飼育係で話し合いを持って決めています。

12月13日当日は、朝、8時20分に動物公園に集合していただき、9時から各担当にわかれて、午前中の作業に入ってもらいます。午前中は動物舎の清掃やエサ付けなど行ってもらい、午後には、記念写真の撮影と当選者が午前中に体験していない動物舎の裏側探検を行います。午後2時より、午前中に担当していた動物の世話をしてもらい、午後4時に、動物科学館に集合して

終了式をおこないます。終了式では、園長の話と修了書と記念品の授与を行い、アンケートの記入をしてもらい、解散となります。

アンケートを見てみるとこの大人の飼育体験に何回か応募してやっと参加できてとても楽しかった。疲れたけれども楽しい1日だった。などの好意的な意見もたくさんありました。また、他にも大人の参加できる企画がもっとあっていいという意見やこの時期は寒いので時期を変えてみたらという意見もあり、私達の今後の新しい企画を考える上で参考になる意見もたくさんありました。

今後は、大人の飼育体験をもっと多くの市民の方に知ってもらい毎回多くの参加希望者がはがきを送ってくれるようにいろいろと考えていきたいと思っています。



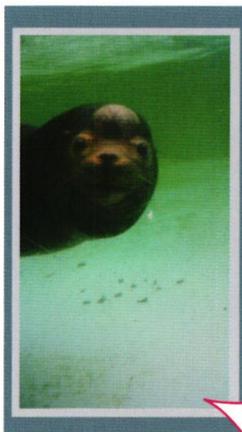
▲修了書の授与 お疲れ様でした

鈴木 克典(SUZUKI KATSUNORI)



## モバイル写真館OPEN

日本の人口と同じぐらいの台数が普及している携帯電話、本来の機能の他にインターネット・カメラ・テレビ・辞書・スケジュール管理などありとあらゆる機能が満載されています。その携帯電話による動物公園内で撮影した写真を募集するモバイル写真館を開催いたしましたところ、90名以上の方からご応募をいただきました。その中からちょっと気になった写真をご紹介します。

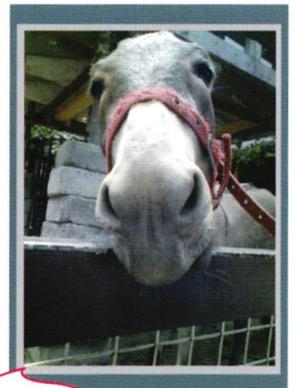


ナオゾーさん撮影



ユキさん撮影

修行僧みたいな座り方がグッド。



小高健一さん撮影

ロバのやわらかな鼻先の感触が伝わってきます。

携帯はシャッタータイミングが難しいのですが、見事です。



## 飼育よもやま話

### シジュウカラガンを展示と思ったら…

シジュウカラガンが平成21年最後の新着動物として12月にタンチョウ放飼場に登場しました。

当園では、夜間に小屋の中に收容しています。閉園近くなると、入りたくないガンと入って欲しい私との知恵比べ我慢比べが始まります。私は、両手に熊手をもち、小屋に追い立てます。このとき、ガン達にお願いしたり、怒ったりと、つい声が出てしまい来園者の笑を誘ってしまいます。展示を始めて2週間たったある朝、小屋の中に羽が散らばっているのを見つけました。4羽の様子を見ると落ち着いています。このときは何かに驚き暴れたのだらうと判断しました。

しかし、この判断が大変なことに。3日後、また羽が散らばりました。今度は1羽の背中が丸裸。出血も少々。繁殖シーズンに向け、ペア以外の個体を排除する行動が出てきたのです。狭い小屋の中では逃げるできないための結果でした。あわてて、弱いペアを裏に收容。

その後、1度裏の扉を開放し再度4羽の同居を試みました。その結果は、1羽は放飼場まで出ましたが、ペア個体が少し動くにあわてて逃げ落ちつかず。残りの1羽は小屋の中の池の陰に隠れて出ようともしませんでした。

展示を始めてから約1ヶ月。ここに、收容しながら4羽を展示するという計画はあっという間に終了。

別々の場所で飼育することになったペア、この記事が読まれる頃は、どちらかが産卵、抱卵という運びになっていれはうれしいのですが。

〔おまけ〕

解説版を作るために、調べていてちょっと面白いネタが。小鳥のシジュウカラと顔の模様が似ているからこの名前がついたとのこと。ぜひ、皆さんも見比べてみてください。真偽は別として飼育係一同妙に納得してしまいました。

伴野修一 (BANNO SHUICHI)



## 動物公園の動物

### フタコブラクダ

現在、当園でご覧いただけるラクダは、二つのこぶをもつフタコブラクダで、オスは「トニー」(2007年うまれ)、メスは「ヒロ」(1997年うまれ)といます。誰もが知っている動物ですが、現在、野生のフタコブラクダは絶滅の危機にあります。

かつては、中国西部の黄河流域からモンゴルおよびカザフスタンにかけて広く分布していましたが、現在は個体群がちりぢりになり、モンゴルに600頭あまり、中国に350頭あまりといわれています(IUCNの2009年の報告)。

ラクダの仲間には、アフリカや中近東のこぶが一つのヒトコブラクダもいて、荷物の運搬などに役だっていますが、野生個体は絶滅してしまいました。

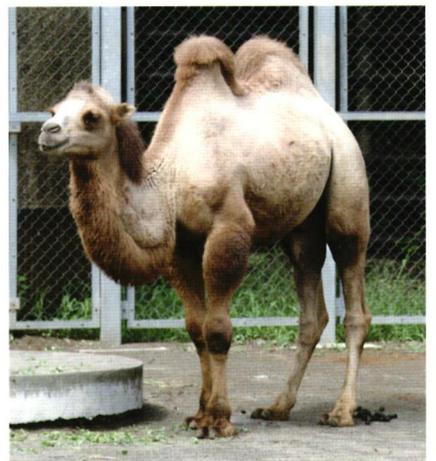
ラクダは蹄のうしろ側がおわんのようによくひろがって、砂地でももぐらずに歩けるようになっていますし、鼻の穴は閉じることができます。また、まつげも長く、砂漠に適応したからだの特徴をもっています。

5月から7月にかけては冬毛がとれてすっきりした感じに、9月ごろからもこもこした冬毛が生えてきます。生え始めは首の下からで、しばらくアンバランスな感じなのでおもしろいです。これを「換毛」といいますが、日照変化によって、引き起こされる現象です。冬毛をぶらさげていると、お客様から「ブラッシングして、とってあげてください」と言われるのですが、直接飼育係がとってあげようとしても、それはちょっと無理です。オスには鋭い歯(犬歯)があって向かってきますし、メスも必ずといっていいほど、近づくと泡だらけのつばを吐きかけてくるからです。その命中力はほぼ100%なので、たまりません。でも、いつかは必ずきれいにとれるので、少し待ってくださいね。

トニー(写真)とヒロの食事は、それぞれ干し草4~5kgと青草10kgを中心とし、マテバシヤやシラカシなどの木の枝、ニンジンやサツマイモなど根菜類が1kg程度です。

当園に来た時から、ヒロは左後ろ脚を引きずって歩いたり、こぶが横にねている、すぐ座ってしまうなど心配なことばかりですが、今のところ大きな病気もせずに暮らしています。一方のトニーはときおり走り回ったり前足で砂を蹴っておねだりするなど、まだ幼さが残っている感じです。二頭のあいだに子どもが生まれることが、目下の願いです。

並木美砂子  
(NAMIKI MISAKO)





# 動物公園日誌から

## '09年10月1日～'09年12月31日

- 10月1日 エリマキキツネザル(雄、No.33)、捕獲し隔離する。皮膚がカサカサになっている。
- 10月3日 エンペラータマリン(2頭)、繁殖。  
オグロマーモセット(2頭)、繁殖。  
**コツメカワウソ(仔)、13:10から13:30放飼場へ出る。**  
シロオリックス(グランデ)、通路に出す。  
写真教室開催
- 10月4日 クロザル(雌)、朝、流産していた。  
ホンドザル、室内の扉が壊れたためしばらく屋外のみで飼育する。  
東フィルフレンドシップコンサート開催
- 10月5日 エリマキキツネザル(雌、No.41)、巣箱に終日入っており、バナナ以外は残す。夕方、巣箱に耳をつけると小さな声が聞こえた(仔)。  
出張授業(生浜小学校)
- 10月6日 ミナミコアリクイ(雄)、新着  
エリマキキツネザル(雄、No. 33)、残餌多く、覇気がない。
- 10月9日 エリマキキツネザル(雌、No. 41)、17:00頃巣箱より出て5分くらいかけて排尿、排便をする。餌はほとんど食べない。仔に対して「グルルル…」といった声を出す。仔の小さな声が聞こえる。  
タンチョウ(雄)、下のくちばしが4センチくらい折れる。バランスをとり採食しやすくするため上のくちばしを1センチほど切る。
- 10月10日 ゴリラ、ゴロ(雄)死亡(老衰、多臓器不全)。  
タンチョウ(雄)、缶の餌入れの餌をついばむのを確認する。
- 10月11日 ワンポイントウォッチング(アミメキリン)。
- 10月12日 エリマキキツネザル(雄、No. 33)入院。
- 10月13日 **シロオリックス、グランデ(雄)**とラザニア(雌)と一緒に放飼場に出す。ラザニアが威嚇するが特に問題はない。
- 10月14日 コガモ(雄1、雌1)、検疫明け。トキ舎へ移動。
- 10月15日 キングペンギン(雌)、午後採食しない。  
出張授業(高洲第二小学校)
- 10月17日 ホンドザル、出産があったが仔は死亡していた。  
市民の日協賛 動物ミニクイズ
- 10月18日 エリマキキツネザル(雄、No. 33)、鎮静下でX線撮影、採血、シャンプー等を行う。  
市民の日協賛 動物ミニクイズ  
秋の講演会開催
- 10月19日 ホンドザル、全頭個体確認。雄7頭を繁殖制限のため予備室に隔離する。  
キングペンギン(雌)、強制給餌を行う。
- 10月20日 キクユコロブス(雄)、退院。
- 10月21日 エリマキキツネザル(仔)、巣箱より出るのを確認。
- 10月22日 アカハナグマ、フィラリア予防実施。
- 10月25日 サポーターズデイ
- 10月26日 アフリカハゲコウ、夜間収容する。
- 10月27日 ルリコンゴウインコ(雄、No. 15)死亡(肝腫瘍)。
- 10月28日 出張授業(本町小学校)。
- 10月29日 アメリカバイソン(雄)、獣舎の木製扉に体当たりをし、レールから外してしまう。
- 11月1日 ZOOクイズラリー開催
- 11月2日 エリマキキツネザル、親子を初めて屋外へ出す。
- 11月6日 ちばZOOフェスタ2009開催(11月8日まで)。  
フンボルトペンギン、体重測定をする。
- 11月8日 シロガオマーモセット(雄1)、繁殖貸与で浜松市動物園へ移動。
- 11月9日 コツメカワウソ(仔3頭)、性別確認を行う。雄1、雌2であった。  
植栽伐採作業のため猛禽類を馴化施設等に移動する。
- 11月10日 エンペラータマリン(雌1頭)、午後の給餌のとき元気がないので捕獲し治療するが死亡する(心不全)。  
千葉市立山王中学校(8名)職場体験実施(11月11日まで)。



- 11月11日 ショウガラゴ(1頭)、繁殖。
- 11月12日 ホオジロカンムリツル(3羽)、ブリーディング舎より、草原Aへ移動し展示する。
- 11月14日 キングペンギン(雌)、やや元気が出てきて強制給餌のとき逃げようとする。
- 11月15日 ワンポイントウォッチング(アメリカバイソン)。
- 11月16日 伐採終了のため、猛禽類を展示施設に戻す。
- 11月18日 プレーリードッグ(仔6頭)、マイクロチップ挿入。
- 11月19日 千葉市立磯辺第2中学校(8名)職場体験実施(11月19日まで)出張授業(大森小学校)。
- 11月21日 ショウガラゴ(仔)、巣箱より出はじめる。
- 11月22日 キングペンギン(雌)、元気低下のため入院。
- 11月24日 アフリカハゲコウ、2日前よりクラッターリングをしていたが、昼間交尾を確認する。
- 11月27日 クサガメ、イシガメ体重測定を行う。
- 11月28日 **パタスザル(1頭)、繁殖。子を胸に抱いている。**  
フンボルトペンギン、翼帯の取れた2羽に再装着する。  
ZOOキッズデー開催
- 11月29日 エジプトハゲワシ、ダチョウの卵割実施。  
割った後、3羽で食べていた(初観察)。
- 11月30日 パタスザル、仔の授乳確認。  
ニシゴリラ(ローラ、雌)、発情のためか、お尻を地面にどっすんと叩きつける行動を繰り返す。また、担当者に小刻みに鳴く。
- 12月1日 ニシゴリラ、ローラ発情。モンタは交尾する様子はないがローラの近くで走り抜けたりにしている。ケンタが隣の放飼場でしきりに気にしている。  
グレビーシマウマ(メグミ、雌)、朝出産していたが仔はすでに死亡していた。メグミも難産による横隔膜破裂で午後死亡する。
- 12月3日 キンカジュウ、巣箱より仔の音がする様で出産したと思われる。
- 12月4日 キンカジュウ(1頭)、繁殖確認。
- 12月6日 ワンポイントウォッチング(アジアスイギュウ)。
- 12月7日 フタクビナマケモノ(仔)、ゴリラの屋内展示場に木を組み、そこに14:00から15:00に放飼する。最初は不安がって鳴く。  
出張授業(稲毛第二小学校)。
- 12月8日 シジュウカラガン(4羽)、仙台市八木山動物公園より繁殖貸与で新着。
- 12月9日 コツメカワウソ(雄)、死亡(腎結石)。
- 12月13日 キンカジュウ、母親が仔をくわえて巣箱より出てくる。その後すぐ戻る。
- 12月14日 アジアゾウ(雌)、15:00頃展示場で雄に押され、モートに落ちる。モートの扉をあけ舎内に誘導するが入らず。ブルーシートを使い追い19:40に収容できる。外見的にはけが等はない。  
出張授業(さつきが丘小学校)。
- 12月19日 ハシビロコウ(雄)、死亡(多臓器不全)。
- 12月20日 クリスマスシアター開催
- 12月22日 シジュウカラガン(4羽)、検疫明けでタンチョウ舎へ移動。
- 12月24日 動物オリエンテーリング実施。
- 12月26日 モウコノウマ、交尾。完全にはできずに射精する。
- 12月28日 アカコンゴウインコ、産卵。巣箱を設置する。
- 12月29日 ニシゴリラ(ローラ、雌)、発情(前回から29日)。モンタと同居を試みるが表にでない。ローラは担当者にプレゼンティングする。
- 12月31日 ケープペンギン(2羽)、孵化する。



## 編集後記

「暖冬」と言われながらも例年並みの寒い日もあり、春の陽射しを待ち遠しく感じていたのに、園内の木々はしっかりと芽吹き始めました。春を待ち望んでいた動物たちも日ごとに活発な動きをするようになりました。「今年の桜の開花はどうでしょうか。」そんなお問合せもちらほらいただく様になりました。今年は、開園25周年目を迎えます。緊迫した財政の中、大イベントの実施はできませんが、市民の皆さんが気軽に散策でき、愛着を持って来園下さるような動物公園であればと考えています。ぜひ暖かな春陽のあふれる動物公園へお出掛け下さい。 どうぶつこうえんニュース編集委員

## あなたの思い出で振り返る動物公園

### ～25年の歩み～ 思い出募集中

25周年特別展に展示する動物公園の写真や  
思い出を募集しています。

募集期間 ▶▶▶ 平成22年4月10日まで  
応募についての詳細は、ホームページ  
(<http://www.city.chiba.jp/zoo/>) をご覧ください。

展示期間 ▶ 平成22年4月24日～8月1日  
展示場所 ▶ 動物科学館 2F 特別展示室

#### 動物取扱業者標識

①氏名又は名称	千葉市
②事業所の名称	千葉市動物公園
③事業所の所在地	千葉市若葉区源町280
④動物取扱業の種別	展 示
⑤登 録 番 号	第50015号
⑥登 録 年 月 日	平成19年7月30日
⑦有効期間の末日	平成24年7月29日
⑧動物取扱責任者	飼育課長 小林正典

## 千葉市動物公園 Chiba Zoological Park サポーター会員募集

(財)千葉市動物公園協会では、動物に関する知識と動物愛護の精神を  
普及することを目的に「サポーター会員」を募集いたします

年会費(入会日～翌年入会月末) 個人会員 10 千円  
法人会員 10 1万円

オリジナルグッズプレゼント♪ サポーターズデイに無料ご招待

お問い合わせは TEL 043-252-1111

#### 法人サポーター会員 (順不同)

(株)動物公園協会の  
千葉県米穀(株)  
(株)さわらび  
ジェノスグループ(株)  
大西総業(株)  
(株)ニッセイアド  
千葉都市モノレール(株)  
利根コ-ポ-ドリツグ(株)  
エパタ株式会社  
東急建設(株)  
(株)小柳組  
(財)千葉市国際交流協会  
玉山商会  
(株)和光物産商会  
(株)新星医薬商事  
(有)カンタ事務機  
千葉商工会議所  
久野インターナショナル  
(株)加藤緑化土木  
ノザキ建工(株)  
関東70-ス(株)  
日東パ-ソニック(株)  
(株)石綿竹松商店  
(株)AQUA  
(株)シューエイ商行  
伸光エンジニアリング(株)  
千葉市建設コンサルタント協会  
(株)環境技研コンサルタント  
(株)久世  
(株)的場  
千年杉建設(株)  
(株)伊藤工務店  
(有)三栄舗装工業  
千星会  
西原工業(株)  
(社)千葉市観光協会  
(22年1月現在)

## Information

### 平成22年3月～6月の催し物一覧

3月14日(日)	ワンポイントウォッチング(コツメカワウソ)
3月21日(祝)	ZOOクイズラリー
4月18日(日)	ワンポイントウォッチング
5月15・16日(土・日)	バードウィーククラフト教室
5月23日(日)	ゆかいな森の音楽会
5月30日(日)	ワンポイントウォッチング
6月 6日(日)	ヒツジの毛刈り教室

詳しくは <http://www.chibazoo.net/> でどうぞ。

どうぶつこうえんニュース第75号  
平成22年3月1日発行

編集  
発行

千葉市動物公園 <http://www.city.chiba.jp/zoo/>  
(財)千葉市動物公園協会 <http://www.chibazoo.net/>  
〒264-0037 千葉市若葉区源町280番地 280 Minamoto-cho Wakabaku Chiba-city Japan

[総合案内] TEL 043-252-1111